

高知大学における 地域振興に向けた人材育成



平成27年3月9日(月)
高知大学地域連携推進センター長
受田 浩之

本日の内容

👉 高知大学の概要

👉 高知県の現状と産業振興計画

👉 地域振興における大学の役割

(1) 土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業
(土佐FBC)

(2) COC高知大学インサイド・コミュニティ・システム
(KICS) 化事業

(3) 高知大学地域協働学部を設置

👉 おわりに



高知大学の概要

「高知」の概要



- 学部**5**(人文, 教育, 理, 医, 農)+土佐さがけプログラム
・・・学生数約5,000人【県内出身校入学者比率 約24%、県内就職者比率 約24%】
- 教職員数・・・教員:約700人、職員数:約1,000人

キャッチフレーズ

「5つの能力で社会の力に！4つのCで高知から世界へ！！」

Chance

人間関係を作る力など社会性の不足や権利と責任のバランスの喪失、規範意識の希薄化、あるいは他人への思いやりの不足が叫ばれている中、自らの能力向上に向け、たゆまぬ努力を惜しまない人材を育成します。

Challenge

人間性、社会性に富み、活力のある人材の育成を目指します。

Change

教養教育、専門教育や正課外教育あるいはインターンシップを通じて5つの能力(表現力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、異文化理解能力、情報活用能力)を身に付けさせます。

Create

21世紀の知識創造社会で活躍できる人材を輩出します。



高知県の概要

- 県内市町村数・・・**34**(市11 町17 村6)
- 人口・・・約75万人(うち高知市34万人)
- 特徴(課題)・・・人口が全国に15年先行して自然減
高齢化率の上昇が全国の10年先行
生産年齢人口の減少が続く

⇒高知県産業振興計画を策定(平成20年度～)【現在は第2期が進行中】

- ① 産業ごとの縦割りの計画ではなく、実体経済に合わせて産業間の連携を重視し、かつ生産面だけでなく、加工、流通、販売も合わせて支援するトータルプラン
- ② 変化の激しい経済の動きに対応できるように、また、新たなアイデアを盛り込めるように、PDCAサイクルを通じて毎年度改定
- ③ 第2期計画においては、「産業振興計画の推進によって目指す将来像（10年後の成功イメージ）」を明記し、その成功イメージの実現に向けて、各産業分野における目標や指標を設定

※「PDCA」: Plan(計画)、Do(実行)、Check(検証)、Action(改善)による行動プロセス

高知県産業振興計画の構成

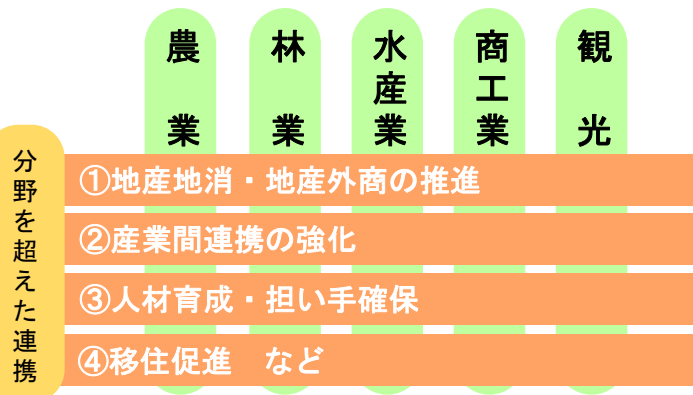
総論

- ◆本県の強みや弱みを整理(SWOT分析)
- ◆強みを生かしきる観点から、5つの改革の基本方向を明記

353
施策

産業成長戦略

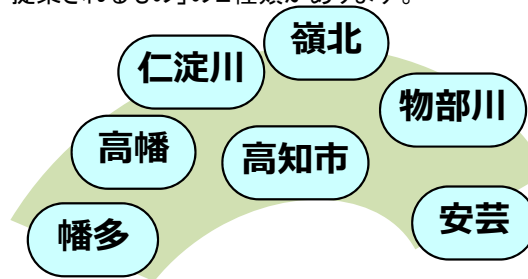
- ◆5つの産業分野及びこれらを結ぶ連携テーマで構成されています。
- ◆これからの対策をいつ、どのような形で実施するのか明確化しています。



具体化

地域アクションプラン

- ◆7つの地域ごとに、それぞれの地域で進める具体的な取り組みです。
- ◆プランは、「地域からの発案で提案されるもの」と「産業成長戦略を地域で具体化する取り組みとして提案されるもの」の2種類があります。



戦略化

245
事業

高知県の現状と人材育成の取り組み

現状 ① 食料品出荷額等723億円(全国46位)
(H19) ② 農業生産額963億円(全国31位)
③ ①／②=0.75(全国46位 全国平均2.94)



食品の高付加価値化・中核人材の育成が必要

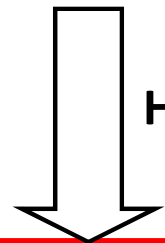
人材育成の取り組み

H19年度 高知県食料産業クラスター協議会設立
(農林水産省)



H20年度 高知大学 科学技術振興調整費応募
南国市、香美市、香南市 地域再生計画

H20年度 高知県産業振興計画
(高知県策定)
(産業振興計画検討委員会
委員長:受田浩之)



H20年度～
高知大学土佐FBC人材創出



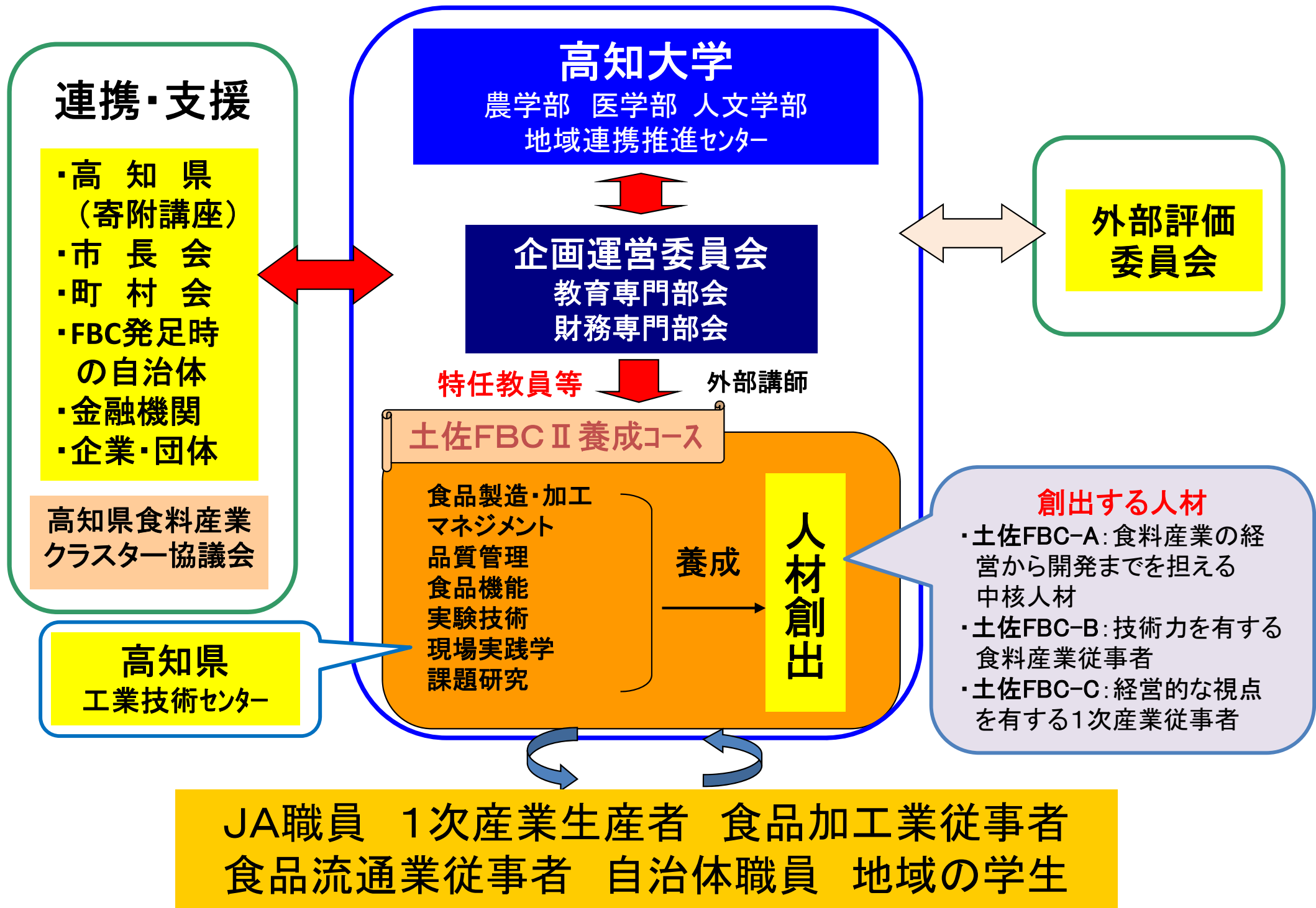
H21年度～
高知県食品産業の振興と人材育成



土佐フードビジネスクリエーター (土佐FBC)人材創出事業



実施体制と地域との連携 (H26年度)



土佐FBC養成プログラム (H26年度)

選択受講コース
(1年間, 80hまで)
企業研修コース
(1年間, 40hまで)

土佐FBC-Aコース
(2年間)

土佐FBC-Bコース
(1年間)

土佐FBC-Cコース
(1年間)

食品製造・加工(40h)

マネジメント(50h)

品質管理(30h)

食品機能(40h)

実験技術(40h)

現場実践学(40h)

課題研究(OJT)

土佐フードビジネスクリエイター



土佐FBC倶楽部

修了

カリキュラム(H26年度)

①食品製造・加工

食品製造工学	下田 満哉 久塚 智明	九州大学大学院 (株)FBTプランニング
食品加工学	保積 幸和 西岡 道子 沢村 正義	高知地域センター 高知県立大学 土佐FBC
食品化学	受田 浩之	高知大学
発酵化学	永田 信治 上東 治彦 吉金 優	高知大学 高知県工業技術センター 土佐FBC

マーケティング

永島 正康 久塚 智明 新村 茂夫 吉澤文治郎 未定 高橋 誠 中村 文隆 岡林 真央 安岡 千春	高知工科大学 (株)FBTプランニング アサツーDK ひまわり乳業(株) ジェトロ高知 アグリネットワーク・れいほく(株) (株)南国スタイル (株)サニーマート NPO法人日高わのわ会
---	---

顧客価値創造論

小松 弘明	ソフトブレーンサービス(株)
-------	----------------

経営環境論

鈴木 誠	(株)ナチュラルアート
------	-------------

③品質管理

食品分析学

島村 智子 沢村 正義 樋口 慶郎	高知大学 土佐FBC 土佐FBC
-------------------------	------------------------

食品衛生学

一色 賢司 宮本 敬久 小野 邦桜	北海道大学大学院 九州大学大学院 高知県食品・衛生課
-------------------------	----------------------------------

②マネジメント

フードビジネス概論	門田 直明	コーライフ・クリエイツ(株)
知的財産管理	中越 貴宣 中橋 紅美	中越特許商標事務所 丸の内法律事務所
商品企画開発実践論	中島 和代	(株)なかじま企画事務所
協働・地域産業学	石筒 覚	高知大学

カリキュラム(H26年度)

④食品機能

食品学	伊藤 慶明 森山 洋憲 沢村 正義	高知大学 高知県工業技術センター 土佐FBC
食品機能学	永田 純一 松井 利郎 渡邊 浩幸 作田 圭亮 受田 浩之	福岡工業大学 九州大学大学院 高知女子大学 小川香料(株) 高知大学
生理・薬理学	松村 敬久 竹内 啓晃 今村 潤	高知大学 高知大学 高知大学

⑥現場実践学

上東 治彦 森山 洋憲 遠藤 恭範 岡本 佳乃 加藤 麗奈 竹田 匠輝 近森 麻矢 下藤 悟 秋田もなみ 沢村 正義 樋口 慶郎 吉金 優 中島 悦子	高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター 土佐FBC 土佐FBC 土佐FBC 土佐FBC
---	---

⑤実験技術

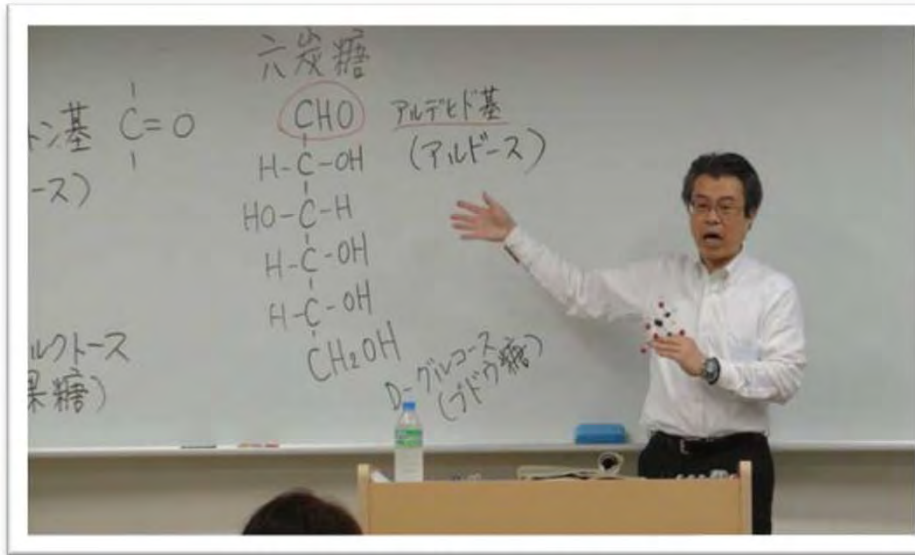
受田 浩之 柏木 丈弘 沢村 正義 樋口 慶郎 吉金 優 中島 悦子	高知大学 高知大学 土佐FBC 土佐FBC 土佐FBC 土佐FBC
---	--

⑦課題研究

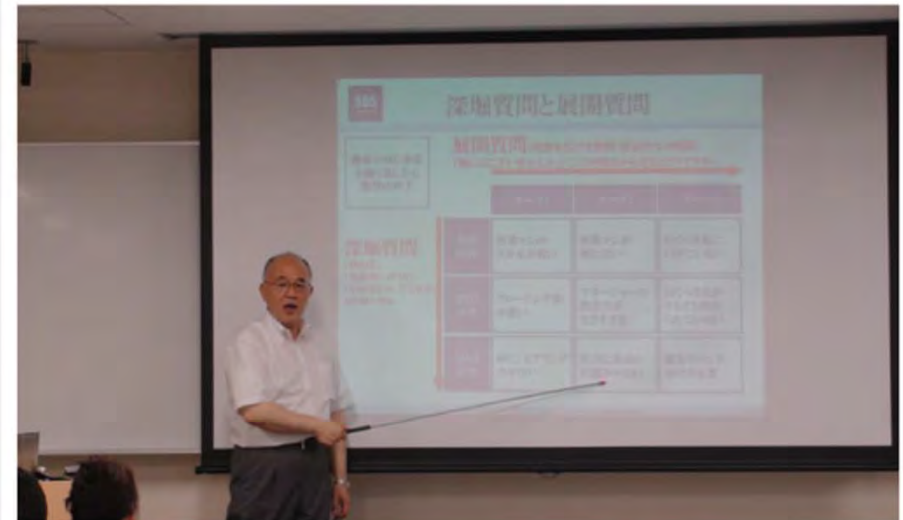
永田 信治 島村 智子 柏木 丈弘 沢村 正義 樋口 慶郎 吉金 優 中島 悦子 上東 治彦 森山 洋憲	高知大学 高知大学 高知大学 土佐FBC 土佐FBC 土佐FBC 土佐FBC 高知県工業技術センター 高知県工業技術センター
--	--

座学の授業風景

(食品製造・加工, マネジメント, 品質管理, 食品機能)



「食品化学」の講義



「マネジメント」の講義



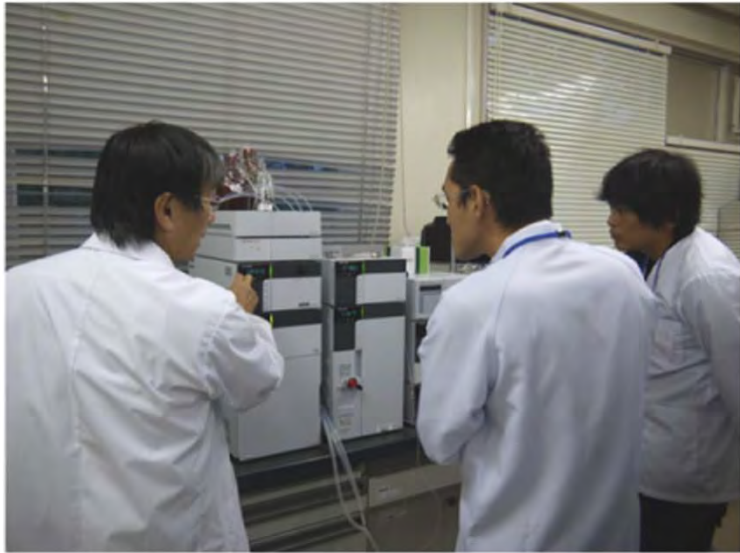
修了生による講義



グループディスカッション

実習の授業風景

(実験技術, 現場実践学)



成分分析



微生物検査



水産加工実習



官能試験

課題研究の研修風景

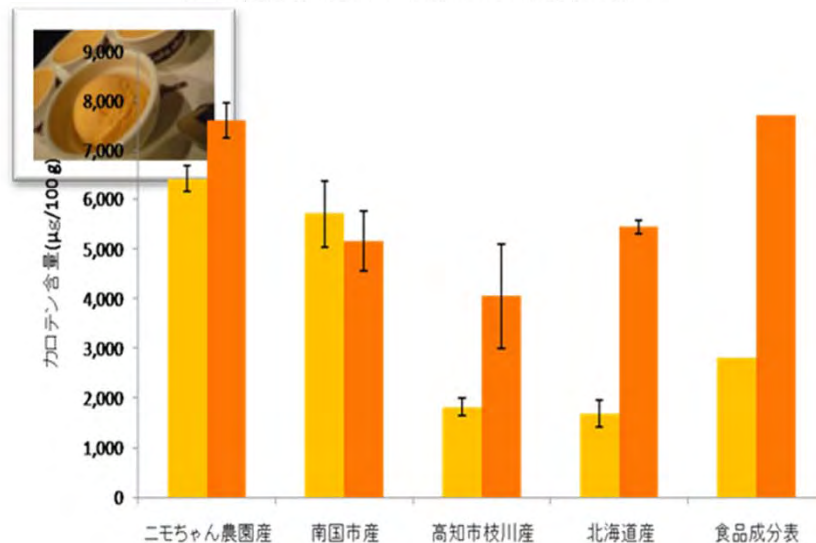
(地域企業の抱える課題解決、商品開発をOJTで実施)



商品開発(硬さ測定)



品質管理(微生物検査)



成分分析



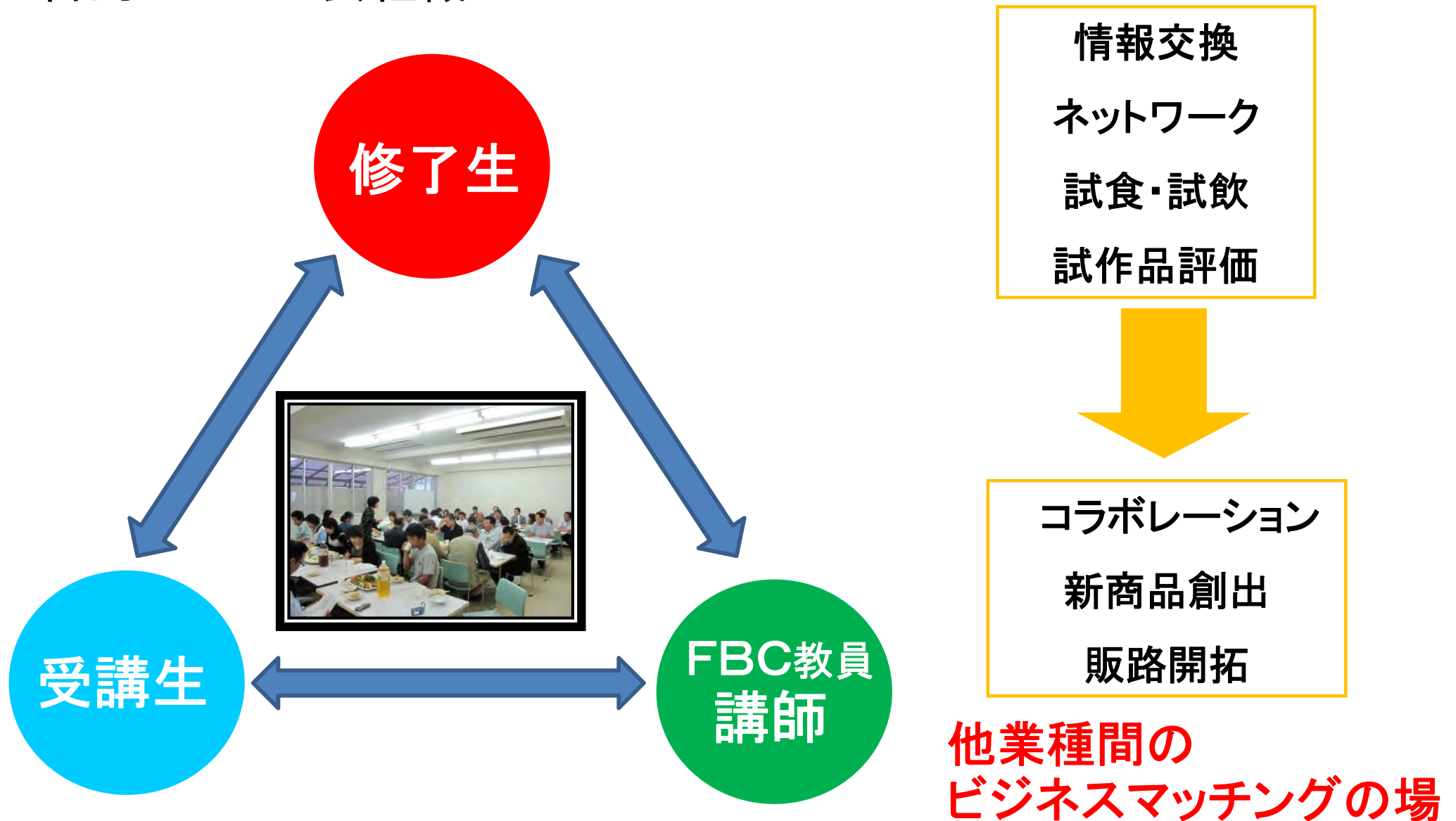
合同販売会の実施

養成人材像および修了者数

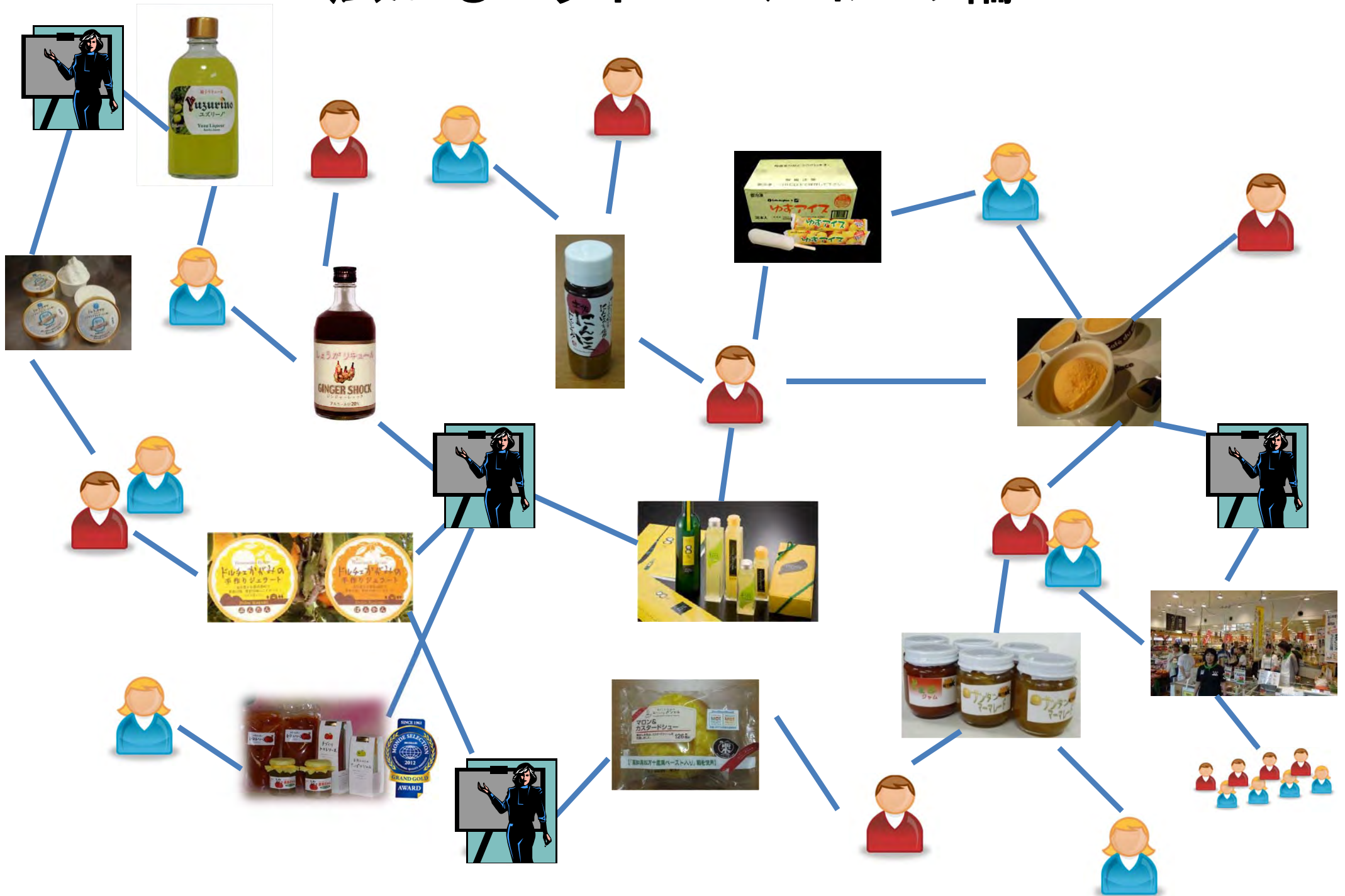
コース	養成期間	創出する人材像	修了者数 (H20-25年度)
A	2年 (240h+課題研究)	食料産業の経営から開発まで 担える中核人材	34名
B	1年 (200h)	技術力を有する食料産業従事者	72名
C	1年 (160h)	経営的な視点を有する農業従事者	70名
選択 企業 学外	(80 h以内) (40 h以内) (40 h程度)	特定分野に対する専門知識の習得者 通学困難地域での出前授業	59名
計			235名

土佐FBC倶楽部から広がるビジネスマッチング

修了生(6年間で235名)ネットワークの継続的な維持・発展を
目的としたOB会組織



広がるコラボレーションの輪



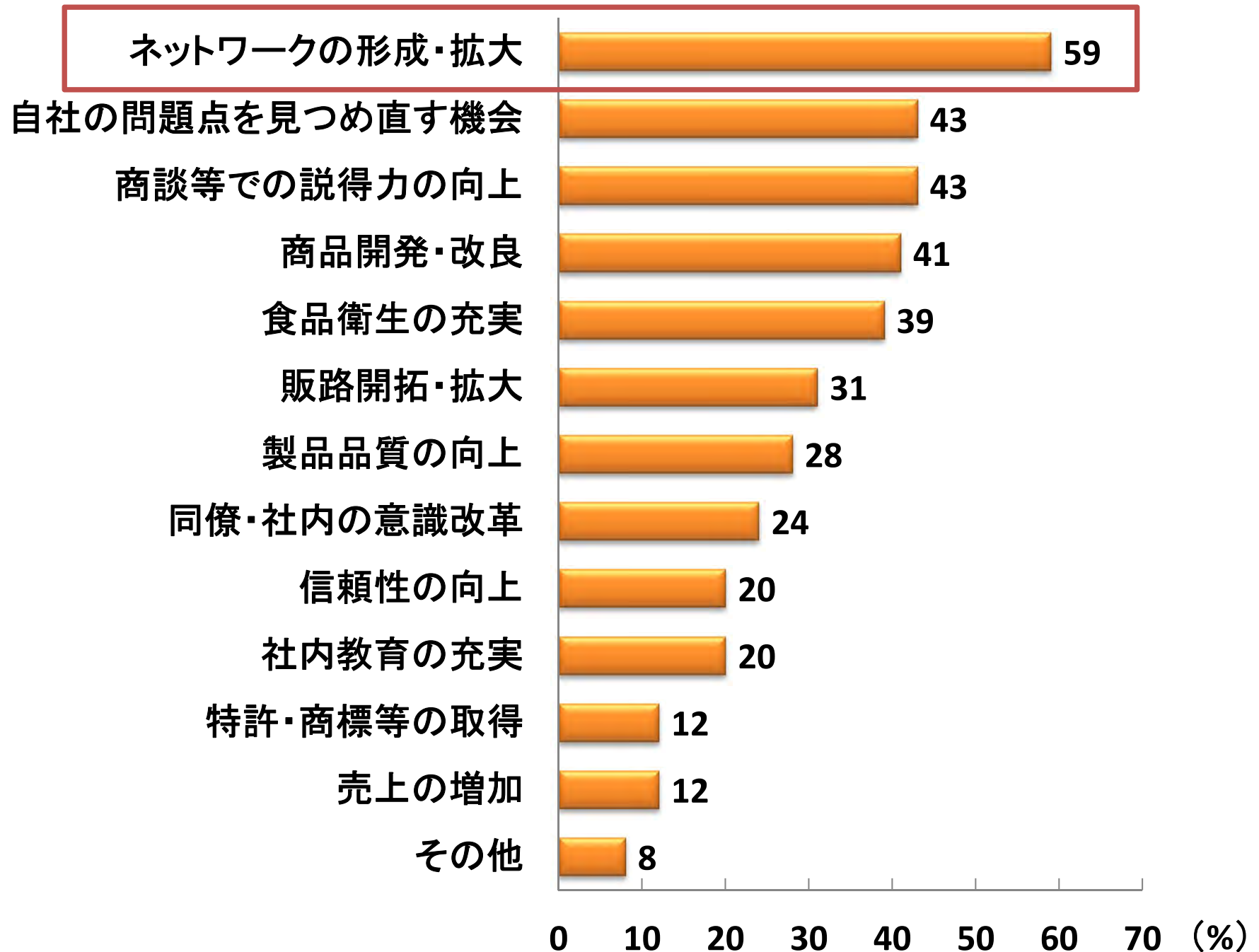
展示商談会への出展



アグリフードEXPO
(東京・大阪)

香港FOOD EXPO
(ジェトロ・高知大学グローバル人材育成事業)

修了生の声



修了生の活躍状況

- ① 修了生(高知大学学生)の地域への定着率83%(H25年度まで)
- ② 修了生の土佐FBC講師への就任(5名)
- ③ 修了生の代表的な活躍状況

修了生	活 動
	建設業の多角化として、 柚子の生産・加工・販売の6次産業化を実現 。 平成22年度から土佐FBC講師。
	量販店バイヤーとして土佐FBCを受講。 高知県アンテナショップ「まるごと高知」の物販店長 として出向、地域の食品事業者の商品開発や販路開拓にアドバイス。 平成24年度土佐FBC講師。
	商品開発や販売促進に努め、 2012年モンドセレクション金賞 を受賞。 さらに 地域雇用も創出 。平成25年度から土佐FBC倶楽部会長。
	自社の商品開発・品質管理・製造・販売のプロセスをマニュアル化を実現し、 自社での社員研修をリード 。
	JA南国市の職員として土佐FBCを受講。JA南国市出資の 農業生産法人(株)南国スタイルを立ち上げ 、地域農業の振興に貢献。平成25年度土佐FBC講師。
	土佐FBC課題研究を礎に数々の商品を開発。開発障害者就労施設として、高知県初の食品の安全に関する国際規格 ISO22000の取得 。

- ④ 土佐FBCの寄与した売上成果
4億円以上(H20～H25の売上アンケート調査結果)

人材養成ユニットの地域波及効果

高知県内

- **土佐FBCⅡの継続(資金規模3,550万円/年)**
- 高知県産業振興計画
(高知県産業人材育成事業(土佐MBA))
- 高知大学COC事業
- ジェトロ・高知大学グローバル人材育成事業
- 土佐FBCの寄与した売上成果 4億円以上(H20～H25)



高知県知事と修了生の
意見交換会

メディア

- 新聞掲載41件(日本経済新聞、朝日新聞、高知新聞 等)
- テレビ・ラジオ・インターネット放送6件(FM高知 等)
- 学会・シンポジウム発表11件
- 雑誌等7件

他地域

- 講演・視察・問い合わせ
(大学) 帯広畜産大学、北海道大学、高崎経済大学、山形大学 等
(行政) 農林水産省、文部科学省、内閣府、宮崎県、和歌山県、沖縄県 等
(国外) モンゴル・日本人材開発センター

イノベーションネットアワード2014

文部科学大臣賞 受賞

評価された点

- 大学を中心とした幅広く実践的なネットワークの構築
- 地域の資源を最大限生かした経済効果が認められる
→他地域でも大いに参考になる事例である

主催

(一財)日本立地センター

全国イノベーション推進機関ネットワーク

概要

地域の中小企業による新事業および新産業創出などを促進し、
地域産業の振興・活性化に優れた成果を上げている地域産業支援
プログラムを表彰

土佐FBC・ロゴマーク



お問い合わせ先：高知大学
土佐フードビジネスクリエーター人材創出
TEL:088-864-5138 FAX:088-864-5209

土佐 FBC

検索



tosa-fbc@kochi-u.ac.jp



高知県産業振興計画に基づき、県内7ブロックに設置されている産業振興推進地域本部に常駐。地域発の取り組みを支援する任務を担う。

産業振興推進地域本部にUBC
サテライトオフィスを設置。UBC
(特任教員)4名を配置する。

- 高知大学キャンパス
- 産業振興推進地域本部

嶺北 地域

物部川地域

仁淀川 地域

高知市 地域

安芸地域

高幡地域

幡多地域

UBCを介した大学教職員・学生と
地域との域学協働
県下全域的な地域ニーズ収集と効
率的マッチング
ワンストップコーディネーターとして
地域を巡回
教室機能を備えた学習施設を設置
同窓生ネットワーク事務局を設置

「地域づくり」システム構築
地域の課題解決のための拠点形成
課題相談窓口の一本化
地域の学習拠点形成
同窓生の絆の醸成

**産学
連携**

(共通事項)
①課題の掘り起こし
②課題解決のアドバイス

地域協働

- ③課題解決のための人材紹介
- ④課題解決のための予算獲得
- ⑤地域産業の人材の育成

⑥地域をフィールドとする教育・研究のサポート
⑦生涯学習の場の提供

UBCを駆動力として…

- ・地域再生・活性化システムの構築
- ・学内各部局の有機的接合の促進

大学と地域の協働的发展 その懸け橋としてのUBC

サテライトオフィス、サテライト教室の機能

サテライトオフィス(平成25年度内に整備)

- ・高知県産業振興推進地域本部に併設
- ・地域コーディネーター(UBC)の常駐場所

機能

- ・地域の相談窓口
課題を集め、教員とのパイプを使って解決策を提案
- ・県職員との現場レベルでの協働
県と大学のネットワークを融合した相談対応

付帯する設備・備品

- ・机、椅子、PC
- ・TV会議システム
各サテライトオフィス、大学本部との
即時情報交換を担保
- ・公用車

サテライト教室(順次、整備予定)

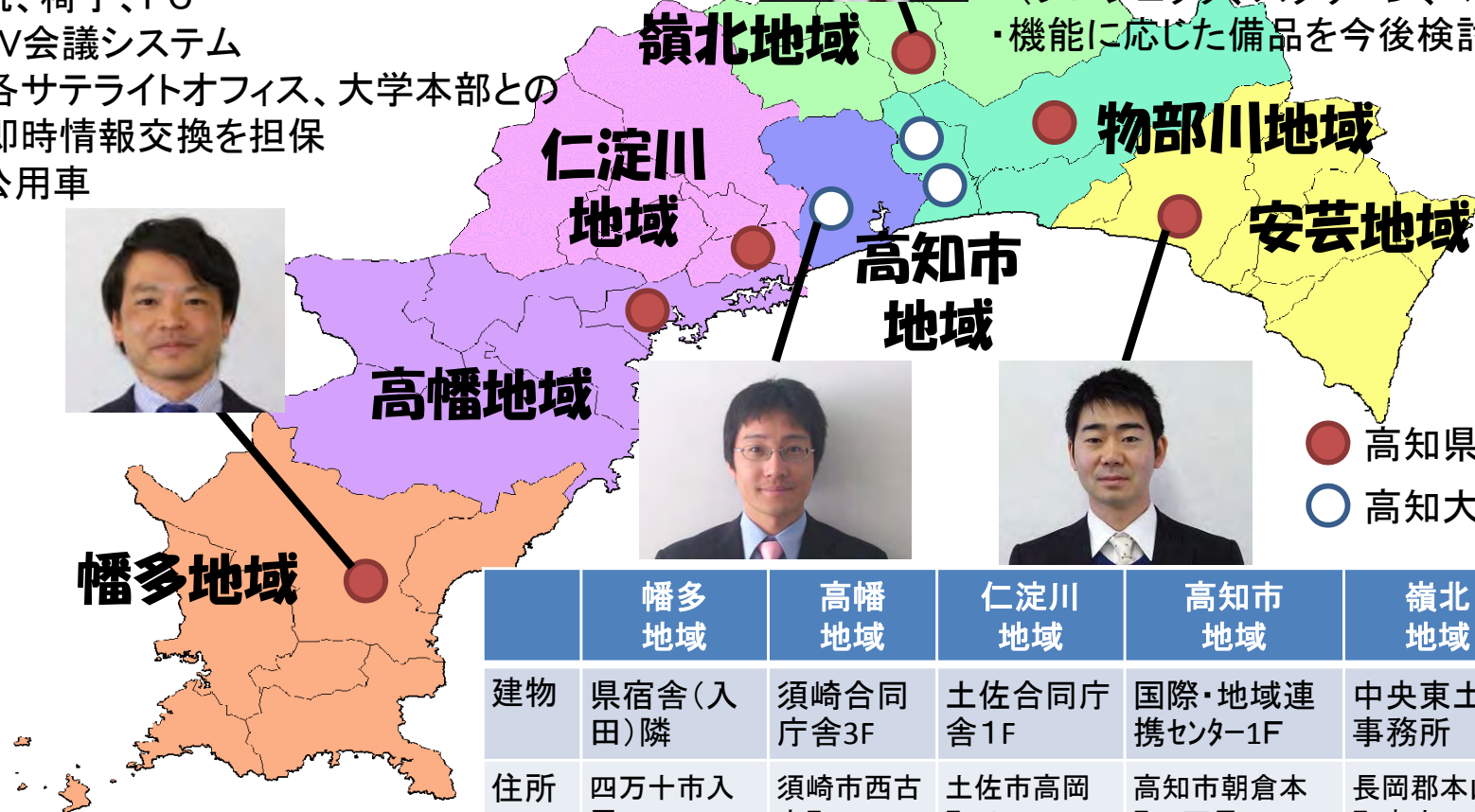
- ・各ブロックに設置、地元の要望に応じて適地を探す
(集落活動センター、公民館、廃校跡などが候補)

機能

- ・公開講座開催の場
- ・大学シーズ発表会開催の場
- ・その他、様々なワークショップ等の開催の場

付帯する設備・備品

- ・プレゼン用機器一式
(プロジェクタ、スクリーン、マイク等)
- ・機能に応じた備品を今後検討



- 高知県産業振興推進地域本部
- 高知大学キャンパス

	幡多地域	高幡地域	仁淀川地域	高知市地域	嶺北地域	物部川地域	安芸地域
建物	県宿舎(入田)隣	須崎合同庁舎3F	土佐合同庁舎1F	国際・地域連携センター1F	中央東土木事務所	香美農林合同庁舎1F	安芸総合庁舎2F
住所	四万十市入田3313-1	須崎市西古市町1-24	土佐市高岡町乙3229	高知市朝倉本町2丁目17-47	長岡郡本山町本山946-6	香美市土佐山田町加茂777	安芸市矢ノ丸1-4-36

学長

国際・地域連携推進機構

理事(総務担当)

理事(地域(社会)連携担当)

地域連携推進
センター長

理事(教育担当)

理事(研究担当)

地域ニーズに
柔軟に対応する
ガバナンス改革

事業戦略
及び方針
の決定

高知県地域社会連携推進本部

理事(総務担当)

地域連携推進
センター長

産学連携
推進室長

域学連携
推進室長

UBC

高知県
文化生活部長

高知県産業
振興推進部長

高知県地域
産業振興監

★地域連携
事業情報の
持ち上げ



国際連携推
進センター
(仮称)

地域連携推進センター

運営戦略室会議

域学連
携推進室

産学連
携推進室

★学内組織
の連携促進

COC教育の
推進支援

COC研究の
推進支援

★大学シーズ
の情報提供

「地(知)の拠点」としての学部教育改革

地域志向教育研究経費

地 域

COC教育・研究の
推進と地域社会貢
献の一体的推進

教育の場、研究素材の提供及
び活動成果のフィードバック

★大学と地域
のコーディネート

地域課題解決
教育・研究を通じた参画

地域
コミュニティ

自治体

企業

NPO・
NGO

公設試

高知大学地域協働学部

平成27年4月設置予定

地域協働学部を設置

～「地域の大学」としての覚悟～

【設置の趣旨】

- ・ 平成27年4月設置。
- ・ 昭和52年に文理学部が改組して以来、38年ぶりの**新学部(6番目)**の誕生。
- ・ 少子高齢化、産業の脆弱化、中山間地域の疲弊に起因する**高知県の地域課題を解決する担い手を育成**する。
- ・ 学生は1年次から4年次まで、県内各地でフィールドワークを実施。
限界集落をはじめとする地域コミュニティの再生、耕作放棄地の利活用、商店街の活性化、地域特産品の販売など学生自らが企画を練り上げ、**地域住民と協働しながら、組織・人を動かす力を身につける**。
- ・ 「学生力を地域の再生と発展に活かす教育研究の推進」を基本理念とし、多くの学生が地域に入り、地域と一緒に考えていく。実現すれば国立大学では**全国初の学部**となる。
- ・ 高知大学は、地方の国立大学としての使命を果たし、日本の高等教育の新しいモデルを構築し、そのフロントランナーとなる。

【学問領域】

・「地域協働学」とは

経済学、経営学、社会学、教育学、農学、環境、美術、スポーツ等の各領域において 行われてきた地域に関する研究を、地域協働という視座で総合化

・ 英語学部名は、Faculty of Regional Collaboration 学位は学士(地域協働学)

【養成する人材像と進路先】

① **6次産業化人**: 6次産業による新ビジネスを自ら起業して活躍する。

→ **起業家、農林商工業の後継者**など

② **産業の地域協働リーダー**: 異業種間等の協働を通じた新ビジネスを創造する。

→ **地域産業振興を担う企業、銀行、JA**など

③ **行政の地域協働リーダー**: 産官及び官民の協働をコーディネートして行政施策を推進する。

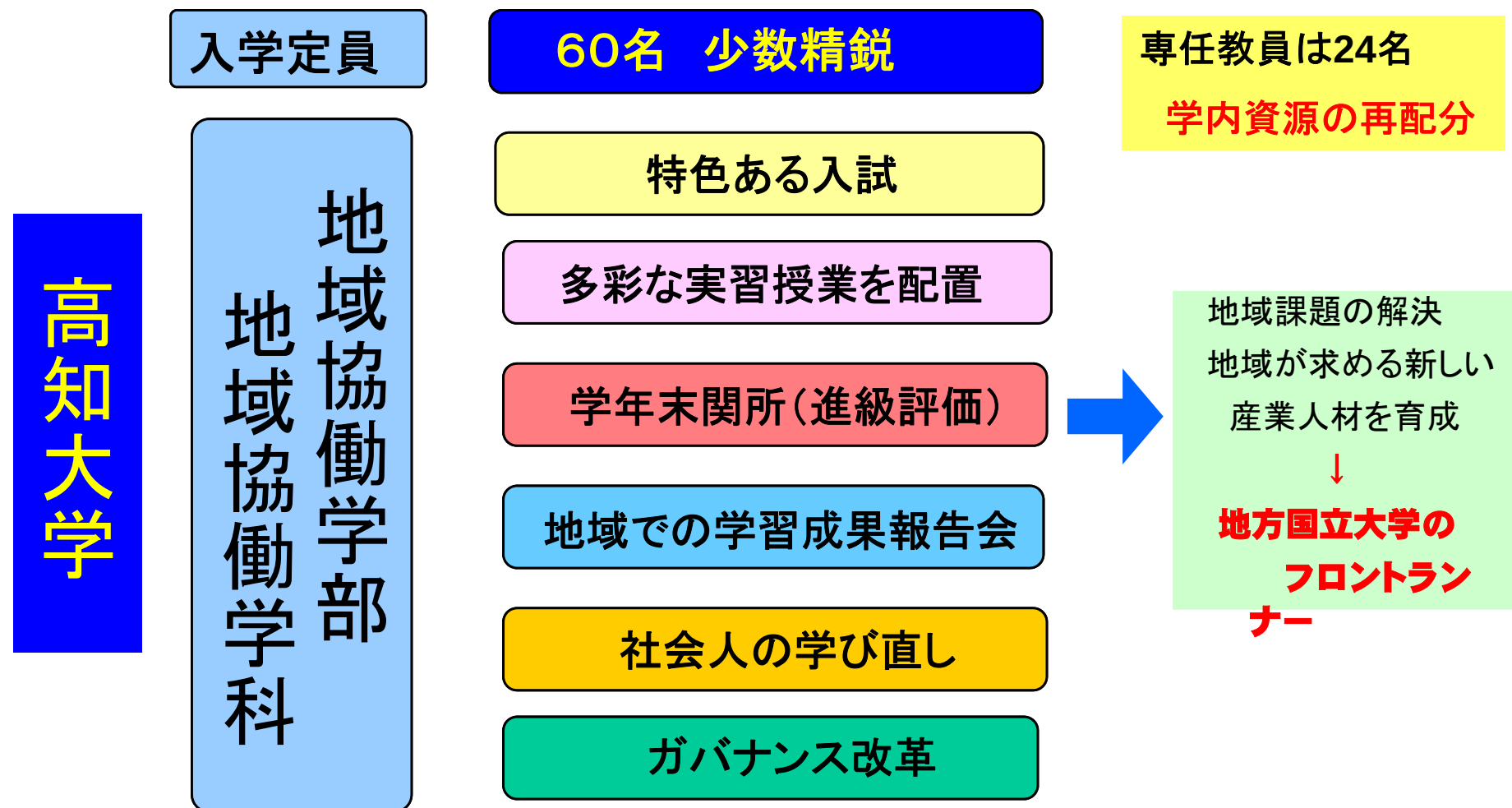
→ **公務員、大学職員**など

④ **生活・文化の地域協働リーダー**: 生活経営, コミュニティ振興, 地域文化振興, 地域スポーツ振興やスキルを有し, 活用する。

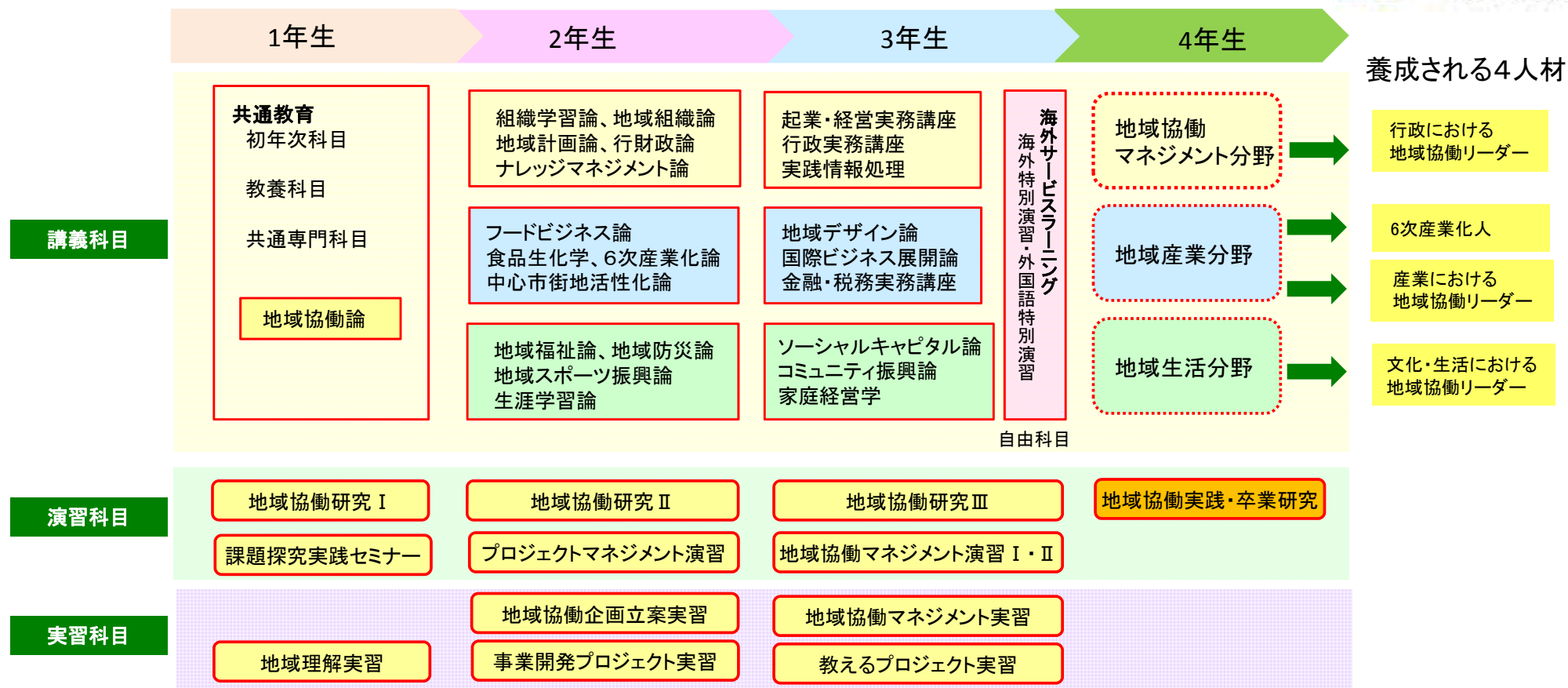
→ **マスコミ、公益法人、NPO**など

地域協働学部 先駆的な特色

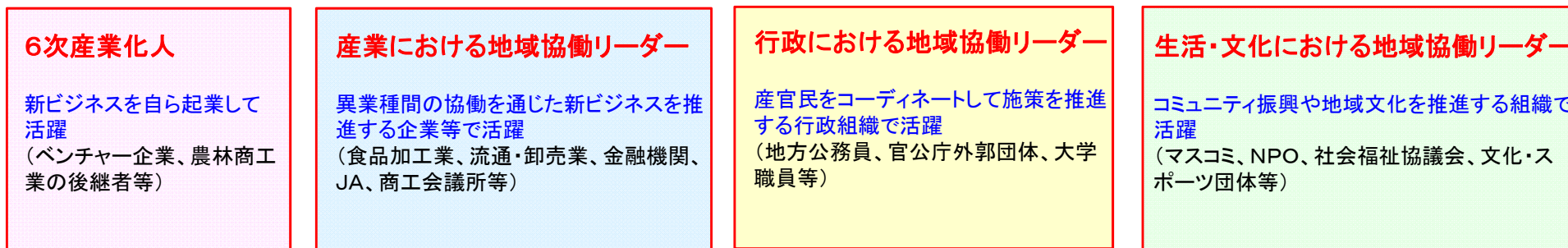
6次産業化を担う「地域協働型産業人材」を育成
学生教育を通じた地域の課題解決の先駆的モデル



◆ カリキュラムマップ



◆ 卒業後の具体的な進路



◆ 地域協働に対する社会的要請

国の「教育再生実行会議」は、今後の大学教育の在り方について学内だけに閉じた教育活動ではなくて、キャリア教育、中長期のインターンシップ、農山漁村も含めた地域におけるフィールドワーク等の体験授業を通じた社会との接続を意識した教育を強化することを求めている。つまり、地域協働を基盤とした実践的な教育プログラムによる地域人材の育成を重視すべきであるとしている。

主な実習先



高知市

土佐山中川地区活性化支援
日曜市での授業フィールドワーク・学生団体活動
高知市コミュニティの実態調査
授業フィールド開発(帯屋町筋、菜園場商店街、県立坂本龍馬記念館、龍馬の生まれたまち記念館、こどもの図書館、県立文学館、高知市こども劇場、県立交通安全こどもセンター)
SBインターンシップ

大豊町

怒田地区での授業(中山間地域の生活と環境、地域協働実習、社会協働実践)
ゆとりすとパーク、クルベジプロジェクト
コラボ考房プロジェクト「虹野菜ファーム」
元気になれる限界集落事業

いの町

是友「出会いの場」プロジェクト
S・O・S認定団体「あぐりい〜ず」
いの町観光協会との連携

仁淀川町

仁淀デザインの学校プロジェクト
長者活性化プロジェクト
元気になれる限界集落Part2
日韓学生交流による地域活性化の提言

四万十市

西土佐集落
過疎地域の大規模災害を想定した防災体制の整備に関する研究

大月町

NPO黒潮実感センター

黒潮町

直販所を活用したコミュニティビジネス
コラボ考房プロジェクト「みながワイワイ隊」
MAPROK

佐川町

地域づくりファシリテーター養成事業

香南市

西川地区「集落活動センター」支援

四万十町

海洋堂ホビー館四万十との連携事業
学生団体「国際茶屋」による七里地区での留学生交流事業



各界からの反響

「新学部アンケート調査2013」から

【高校教師の代表的コメント】

- ・ものすごく時間と労力のかかることをしようとしていることに敬意を表します。文系学部であれば、教室に学生を集め、一斉講義で知識を伝達することが簡単であると思いますが、敢えて新学部を立ち上げて、一見非効率に見えることを始めようとしている所に高知大学の心意気を感じます。(香川:県立)
- ・さすが高知大学と思わせる企画です。きっと成功すると思います。(徳島:県立)
- ・土地柄、地域活性化プロジェクト等をテーマに研究を進めたいと思っている生徒にはとても惹かれる学部だと思います。地元に帰ってきて、地元を支えようとする生徒には絶好の学習場所ではないかと思います。(兵庫:県立)
- ・「協働」というイメージに共感するものがありました。これから生徒が身に付けていくべき能力には、価値観の違う人々と力を合わせて目標を達成していく能力が含まれると考えます。(宮崎:県立)

【企業等の代表的コメント】

- ・多種多様なニーズを求められる社会への対応能力を養うことができる。サークルなどで取り組んでいる大学も多くあるが活動に限界があるため、素晴らしい取り組み。(愛媛県:サービス業)
- ・コミュニケーション力、問題発見、解決能力が低下しているといわれる中、新しい試みである。(東京都:その他製造業)
- ・地域の課題や、立場による利害などを調整し、解決していく能力は社会人としても必要。昨今多い就職を意識した学部とは違い、地頭力が養われる点も好感が持てる。(東京都:建設業)

学生は長期的かつ徹底的に地域と向き合います



コミュニケーション力の向上



日曜市を盛り上げる



大野見地区で茶摘みを体験



高知ケーブルテレビ局とコラボ

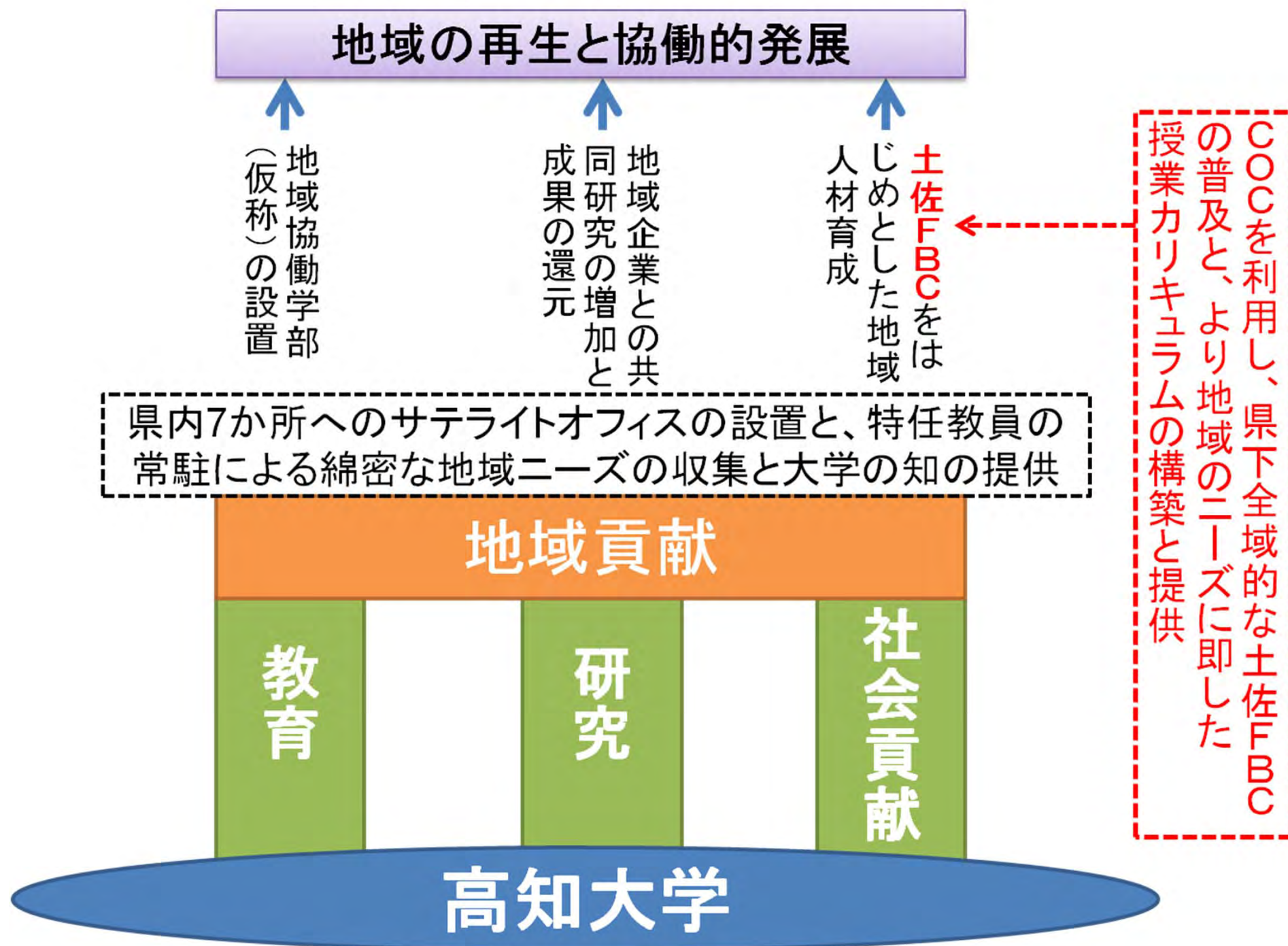


地域活性化策を学生自らが立てる

新学部ができるのは38年振り

高知県の政策課題に真摯に応え、期待感にあふれる学部にしたいと思います

KICS(COC)を基盤とした地域社会への貢献



地方創生における大学の役割 ～課題先進県を課題**解決**先進県へ～



高知大学地域連携推進センター長
受田 浩之